

水田を活用した畜産担い手育成強化事業
(放牧実践スクール)

1 趣旨

牛の飼養経験がない集落営農組織等の構成員を対象に、牛の一般飼養管理や放牧地(草地)の管理技術等を習得する入門研修(以下、「放牧実践スクール」という。)を開催し、もって、牛への抵抗感の払拭、放牧への理解の醸成、新たな技術者の育成等を図る。

2 事業実施主体

放牧実践スクールは、次の県機関が実施するものとする。

- (1) 農林水産部畜産課(以下、「畜産課」という。)
- (2) 中山間地域研究センター
- (3) 農業技術センター
- (4) 畜産技術センター
- (5) 農林大学校

3 事業内容

放牧実践スクールでは、次の取り組みを実施するものとする。

- (1) 技術力向上研修
 - ① 飼養管理技術に関する講義及び実習
 - ② 放牧地管理、飼料作物作付技術に関する講義及び実習
 - ③ 畜産経営に関する検討及び実習
 - ④ その他、集落営農組織の畜産経営に資する取組
- (2) 視察研修
 - ① 先進事例の視察及び調査
 - ② 集落放牧実践者による事例紹介

4 事業の受講者

放牧実践スクールの受講者は、次に定めるものとする。

- (1) 農業者団体(集落営農組織等)の構成員
- (2) 集落営農組織等と連携した放牧を志向する畜産農家
- (3) 今後経営に放牧を取り入れることを検討する農業者

5 事業の手続き

放牧実践スクールの受講を希望するものは、別に定める期日までに、受講申請書(様式第1号)を記載のうえ、隠岐支庁長及び農林振興センター所長(以下、「農林振興センター所長等」とする。)を通じて畜産課長まで提出するものとする。

6 事業の実施期間

本事業の実施期間は、平成29年度から平成31年度までとする。

7 その他

この要領に定めるもののほか、この事業の実施に必要な事項は農林水産部長が別に定めるものとする。

附則

この要領は平成29年4月1日から施行する。

(放牧実践スクール様式第1号)

〇〇農林振興センター所長 様

住 所 : _____
所 属 : _____
代表者 : _____ 印
連絡先 : _____

放牧実践スクール受講申請書

下記のとおり、放牧実践スクールの受講を希望します。

記

1 受講希望者

受講希望日 (場所)	講義内容	氏名	年齢	牛飼 養歴	住所	連絡先 (携帯電話等)	備考

2 その他